

長年続く春の風物詩 冬師湿原野焼き

4月27日、冬師湿原で恒例の野焼きが行われました。本市の春の風物詩で昭和20年代から続く野焼きは、害虫駆除を目的に冬師集落と上坂集落が同時に火を入れます。全国的に山火事が相次ぐなか、前日の強風により1日順延となりましたが、集落の人々は事前に草刈りをして防火帯を作り、人力で散水するなど延焼防止に努める姿が見られました。



▲散水しながら見回り、山火事防止に努めます

Coffee and Nature Make the Perfect Blend 鳥海山珈琲祭2025

昨年、初開催で大好評だったコーヒーイベントが4月26、27日の2日間、「まさえんZero」横の広場で開催され、今年も全国各地の人気コーヒーショップや市内の飲食店が数多く出店しました。強風が吹き荒れるあいにくの天気でしたが、にかほ市の美味しい水を使った特別な一杯を求めて市内外から訪れたたくさんの来場者で賑わいました。



▲お気に入りの一杯を求める長蛇の列

晴天の中大盛況のイベントに にかほ春フェスティバル2025

4月19日と20日の2日間、道の駅象潟エリアにてにかほ春フェスティバル2025が開催され、大勢の観光客で賑わいました。多数のキッチンカーの出店などのほか、超神ネイガー&アラゲ丸と子供たちの綱引き大会も行われました。ネイガーたちに勝つために子供たちは力を合わせて大奮闘！会場は大歓声に包まれました。



▲ネイガーたちと綱引き！にかほっぺんも応援してるよ！

スポ少でスパークしよう！ 令和7年度にかほ市スポーツ少年団入団式

4月19日、エスパーク★にかほでスポーツ少年団入団式が行われました。式では、今年度の新規入団者55人を代表して象潟ミニバスの2人が「スポーツの喜びを学び友情と協力を大切にします」と誓いのことばを述べました。また、小園教育長からは「エスパークで入団式を迎えられた皆さん、スポ少もスパークしよう」と熱いエールを送られました。



▲誓いのことばを述べる須田結斗さん(左)と佐藤愛斗さん(右)

綺麗な砂浜を守るために 旧小砂川海水浴場清掃ボランティア

5月2日、小砂川海岸にて清掃ボランティアが行われました。近年マリンスポーツで人気を集める当海岸。夏本番を迎える前に景観を守るため、地元企業、小砂川自治会、遊佐象潟道路事業安全協議会、モンベルにかほ店などの関係者160人が集い、みんなでゴミを拾いました。最後は地元企業が重機で地ならしを行い綺麗な姿を取り戻しました。



▲地ならしをする重機とゴミを拾う参加者

生徒の学習支援をサポート 地域おこし協力隊委嘱状交付式

5月1日、佐々木陽平さんが新たに地域おこし協力隊に着任しました。横手市出身の佐々木さんは仁賀保高校の魅力化を推進するための学習センタースタッフとして、同じく4月から協力隊に着任した金高俊哉さん・須藤奏多さんと一緒に、仁賀保高校内に開設された学習センターで、生徒の学習習慣の定着と進路実現をサポートしていきます。



▲委嘱状を持つ佐々木陽平さん

旬の魚介類が盛りだくさん！ 漁師の朝市

4月26日、金浦漁港魚市場内で漁師の朝市が開催されました。これは市の漁業活性化を目的に、漁業者達自身が発案し開催している事業です。当日は市内外から200人以上が来場し、市場前には長蛇の列が。市場内にはたくさんの旬の魚介が並びましたが、開始10分で売り切れとなる盛況ぶり。今後朝市は毎月第4土曜日に開催される予定です。



▲たくさんのお客であふれる魚市場

鳥海山観光・登山シーズン到来！ 鳥海ブルーライン開通

4月25日、鳥海ブルーラインが開通しました。開通を待ちわびた観光客を出迎えたのは超神ネイガーやにかほっぺん、明星・星城こども園の園児たちなど。道路が開通するとみんなで小旗を振り、鳥海山五合目鉾立を目指す観光客の車を見送りました。また同日、遊佐町の「大平山荘」で合同の開通式・安全祈願祭も行われ、登山シーズンの到来を祝いました。



▲鳥海山に向かう車をみんなでお出迎えしました